

文化庁移転記念 **日本の技フェア** につぼんの わざ

文化財を未来に残していくための修理技術や材料・道具を製作する技「文化財の保存技術」が一堂にあつまります。この機会にぜひご覧ください。

2023 **11.18** ± **19**日
10:00~17:00 10:00~16:00

会場 **京都市勧業館 みやこめッセ 第三展示場**

入場無料

事前予約制

事前予約はこちら



予約開始 **11月1日(水) 18:00~**

<https://art-ap.passes.jp/user/e/nippon-no-waza-2023>

※事前予約は先着順です。事前予約に空きがある場合は当日入場も可能です。※体験についても予約が必要です。予約フォームにて予約方法をご確認ください。

主催:文化庁/共催:全国文化財保存技術連合会/後援:京都府教育委員会、京都市、NHK 京都放送局



(実) 実演される内容

(体) 体験できる内容(※原則、事前に予約が必要です。※先着順です。)

建造物修理 / 建造物木工

(公財) 文化財建造物保存技術協会
国宝や重要文化財建造物の保存修理には、専門的な知識と経験を持つ技術者による設計監理を欠くことができない



「破損調査」

左官(日本壁)

全国文化財壁技術保存会

茶室の古式京壁、城郭の漆喰壁など、美しさと強靭さを持つ壁には、材料の吟味、調合方法、平滑に見せる仕上げなど、熟練の技術が必要



(実)

「茶室用竹小舞掻き」「中塗り(ひげこ打ち・ちり廻り・中塗り)」「上塗り(白漆喰・黄土の灰土・紅色の灰土仕上げ)」実演

建造物木工

(一社) 日本伝統建築技術保存会
千数百年以上昔から連綿と受け継がれ、日本の気候風土と融合、調和して発達を遂げてきた伝統的な木造建築の木工技術



(体)

「木工箸造り」「鉋削り」体験

建具製作

(一財) 全国伝統建具技術保存会
伝統的な木造建造物に使用されている様々な形式の建具を修理又は新調するためには、繊細な木組みの技術が必要



(体)

「組子コースター製作」体験

建造物装飾

(一社) 社寺建造物美術保存技術協会
寺院や社殿などの歴史的建造物に施されている漆塗や彩色、金具などの装飾を、伝統技法により鮮やかに蘇らせる



(体)

(実)

「繻綱(グラデーション)彩色」体験 「鋳金具製作と仕上げ」実演

畳製作 / 手織中継表製作

文化財畳保存会
文化財建造物に使用されている装飾的な紋縁などのさまざまな様式の畳を継承するため、紋合わせなど特殊な技術の継承が必要



(体)

(実)

「畳の踏み比べ」「紋縁畳のバズル」体験 「文化財仕様畳製作・畳表のカラー」技術実演

檜皮葺・柿葺 茅葺 檜皮採取 屋根板製作

(公社) 全国社寺等屋根工事技術保存会
檜の皮を竹釘で打ちとめ葺き重ねる檜皮葺など、古来より連綿と受け継がれてきた我が国固有の屋根工法



(体)

(実)

「檜皮葺」体験・実演

装演修理技術

(一社) 国宝修理装演師連盟
絵画や書跡などを修理する技術。装演の技術により、紙や絹など弱い材料でできている文化財が今も姿を残す



(体)

(実)

「虫食い穴をうめる修理に挑戦」体験 「虫穴を埋める」実演

茅採取

(一社) 日本茅葺き文化協会
茅葺き屋根の原料となる茅(ススキ、ヨシなど)を育む茅場は生物多様性の宝庫でもあり、野焼きなどによって維持されている



(体)

(実)

「わらのちいさなおうちづくり」体験・実演

装演修理材料・用具製作

(一社) 伝統技術伝承者協会
紙、木工、金工、染織、漆工など装演修理を支える伝統技術の共通の諸問題の解決に、分野を超えて取り組む



(体)

「挽粉で描くアート のこぎりて木を切ってみよう」体験

建造物彩色・建造物漆塗

(公財) 日光社寺文化財保存会
世界遺産に登録されている日光二社一寺において、彩色や漆塗のさまざまな技術を駆使し、美しく荘厳された建物を維持し続ける



(実)

「彫刻の漆箔押し」「建造物修理の着彩工程」実演

木造彫刻修理

(公財) 美術院
木造の仏像などの文化財を修理する技術で、部材のゆるみや虫蝕部の補修、彩色・漆箔の剥落止めなどを行う



(体)

「虫穴つめ」「木製の鈴作り」体験

屋根瓦葺(本瓦葺)

(一社) 日本伝統瓦技術保存会
伝統的な建築物に多く使われる本瓦葺は、優美な屋根の曲線や軒の反りと風雨への対策を兼ね備える高度な技術



(実)

「本瓦葺」「鬼瓦を作る」実演

浮世絵木版画技術

浮世絵木版画彫摺技術保存協会
江戸時代に発達した木版の技術が浮世絵を生み、ヨーロッパを夢中にさせた。江戸時代と同じ図柄を同じ方法で復刻する。



(体)

(実)

「ミニ木版画」体験 「江戸木版画の摺りと彫り」実演

※内容は変更になる場合があります。※実演は終日にわたり、適宜休憩をはさみながら実施します。

各団体の詳細はホームページをご覧ください。https://nippon-no-waza.jp/expo/list/





まつり や たいとう せいざくしゅうり
祭屋台等製作修理

祭屋台等製作修理技術者会

多様な技術で構成される山・鉾・屋台などの製作や修理の技術。日本の伝統ある多様な技術の粋が集められている

「銅板への彫金」体験






にほんさんとうろしせいさん せいせい
日本産漆生産・精製

日本文化財漆協会

文化財には日本で生産された漆が多く用いられているため、漆の木を植え、育て、塗料になるよう樹液を精製する技術

「沈金絵皿」体験






ぶん かさいていえん ほんぞんきじゅつ
文化財庭園保存技術

文化財庭園保存技術者協議会

石、水、植物が美しく配されている庭園には様々な技術が受け継がれている。伝統的日本庭園を未来に残すための技術

「庭の番人“閑守石”づくり」体験

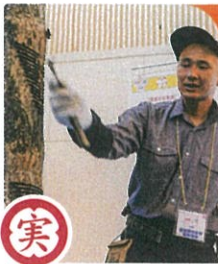




にほんさんとうろしせいさん せいせい
日本産漆生産・精製

日本うるし掻き技術保存会

漆の木の幹に一字に傷をつけ、傷を癒そうと木が出す樹液（生漆）をヘラで掻きとって採取する「漆掻き」


「漆掻き」実演

ぶん かさいいしがきほんぞんきじゅつ
文化財石垣保存技術

文化財石垣保存技術協議会

城郭などに用いられる石垣を修復するための石材加工の技法や石を積む・組む技術の継承




りゅうきゅうあいいせいぞう
琉球藍製造

琉球藍製造技術保存会

古くから沖縄で栽培され、伝統的な染織品に使用される琉球藍の葉を発酵させ、石灰を加えて攪拌し泥藍を作る技術

「琉球藍の栽培」






たけおさせいざく
竹箴製作

日本竹箴技術保存研究会

箴は機で織物を織る時に大切な用具で、柔軟性のある竹箴は手作りの繊維素材や手織りの重要な用具

「三二竹箴作成」体験ほか
 「竹箴製作」実演






あわあいいせいぞう
阿波藍製造

阿波藍製造技術保存会

徳島の藍師が伝統を守りながら大切につくり続ける天然の染料「すくも」。藍色の美しい風合いを届け続ける

「切り返し」






えんつけきんぱくせいぞう
縁付金箔製造

金沢箔伝統技術保存会

箔打紙に金を挟んで極めて薄く打ち延ばした縁付金箔は、漆器の装飾や建造物の保存修理に使われる

「文化財箔貼り」体験「縁付金箔うつつし」実演







しょくぶつせんりょう(にん・しこん)せいさんせいぞう
植物染料(紅・紫根)生産・製造

(一財)日本民族工芸技術保存協会

紫草の紫根や、エジプト・小アジア地方原産の紅花は、伝統的な工芸品の染色に欠くことのできない代表的な植物染料

「ベニバナ染め」体験






もくたんせいぞう
木炭製造

(同)伝統工芸木炭生産技術保存会

日本刀製作や製鉄に必要な松炭・雑炭、漆器や金工に必要な研磨炭など、様々な工芸用木炭を製造する技術

「炭を使って、真鍮を磨いてみよう！」体験






てすきわししょうくせいざく
手漉和紙用具製作

全国手漉和紙用具製作技術保存会

伝統的な手漉き和紙を作るための精密で強靱な用具を製作する技術が、日本の手漉和紙を支える

「紙漉き用具漉き貫づくり」実演





たまはがねせいぞう
玉鋼製造

(公財)日本美術刀剣保存協会

江戸時代以来の製鉄法(たたら吹き)によりつくられる純度の高い玉鋼が日本刀の製作には不可欠

「釜壊し」





からむし(ちま)せいさんおろき
からむし(苧麻)生産・苧引き

昭和村からむし生産技術保存協会

からむしはイラクサ科の多年草で、福島県昭和村は上布用の高品質な苧麻の栽培技術を江戸時代から伝承

「「からむし」って何だろう?!
 ~植物から繊維(糸のもと)が取れることを学ぼう!~」体験

芋麻糸手績み

宮古芋麻績み保存会

芋麻の表皮から繊維を取り、細く裂き、撚り績み、撚り掛け、かし掛けの5つの工程で、宮古上布等の手績みの糸を製作

「芋麻糸手績み」体験 「芋麻績み」実演



組踊道具・衣裳製作修理

組踊道具・衣裳製作修理技術保存会

沖縄の古語のせりふ、琉球の音楽、所作、舞踊によって構成される、約300年の歴史がある沖縄の「組踊」の上演に欠かせない道具・衣裳をつくる技術

「琉装の着付け」体験



歌舞伎衣裳製作修理

歌舞伎衣裳製作修理技術保存会

歌舞伎の数多ある演目に登場する役の衣裳は、色や柄など様々。それらを仕立て、着付け、修理し、歌舞伎の舞台を支える

「藤娘」の衣裳



邦楽器原糸製造

木之本町邦楽器原糸製造保存会

三味線や箏、琵琶、胡弓などの弦楽器の絃に使用される原糸（繭から繰った糸）を製造する技術

「繭から糸を紡いでランタンを作ろう」体験

「繭から糸を紡ぐ糸取り」実演



箏製作／三味線棹・胴製作

邦楽器製作技術保存会

伝統楽器である「箏」と、「三味線」の棹・胴を製作する技術。適切な材を見極め、その特性や実演家の希望に応じて加工する

「三味線棹製作・三味線胴仕込み・棹修理」実演



歌舞伎大道具（背景画）製作

歌舞伎大道具（背景画）製作技術保存会

背景を描いた書割や、岩や樹木を描いて切りだす張り物など、歌舞伎の舞台を飾る舞台装置を製作する技術

「襖絵、花丸を描く」実演



歌舞伎小道具製作

歌舞伎小道具製作技術保存会

舞台上で使用する家具類、登場人物が身に着ける持ち物、更には駕籠などの乗り物など、歌舞伎に不可欠な小道具を製作する技術

「常盤笠を作る作業」



三味線製作修理

三味線製作修理技術保存会

三味線の棹と胴の仕込みから完成に至る一連の工程は、演奏のしやすさや、音の響きを左右する極めて重要な製作技術

「三味線の材料でストラップをつくる」体験 「三味線皮張」実演



表装裂製作

(一社)文化財修理表装裂継承協会

書画などの美術品は、金襴や緞子といった織物を用いては掛け軸や巻物に仕立てられる。装染修理に欠かせない織物の技術を守り伝える

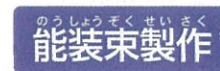


能装束製作

能装束製作技術保存会

能楽の魅力のひとつである豪華な能装束は様々な染織技術を駆使して作られてきた。良質な能装束の製作技術の保存・伝承に努めていく

能装束の指箱 © 田村民子



※1：令和5年度に選定保存技術として選定し、保存団体を認定する予定

※2：令和5年度に保存団体を認定する予定



選定保存技術

国では、「文化財の保存技術」のうち、保存の推進を講ずる必要があるものを「選定保存技術」として選定し、その技術の保持者や保存団体を認定して、技の保存・伝承を図っています。



「文化財を守る匠の技術」について分かりやすく知ってもらうため、マリヒメを主人公にした特設 web ページが開設されています。
<https://nippon-no-waza.jp/kids/>

会場アクセス

〒606-8343
 京都市左京区岡崎成勝寺町 9 番地の 1
 京都市営地下鉄東西線
 「東山駅」より徒歩約 8 分

投票求ム!

「選定保存技術」にもっと親しみを持ってもらえるような「愛称」を決定します。最終決定の参考とするため、これまでに絞り込まれた候補のうち、どれが最もふさわしいか、皆様からの投票を受け付けます。右記 QR コードの投票フォームから、是非、ふるって、ご参加ください。
あなたの一票が、愛称を決定するかも……!



お問合せ

日本の技フェア事務局 (NHK プロモーション内)
 TEL：03-6271-8515 (10:00～17:00 / 土・日・祝を除く)
 詳しくは NHK プロモーション内ホームページ
<https://www.nhk-p.co.jp/waza2023>
 文化庁ホームページ
https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/sentei_hozon/index.html

